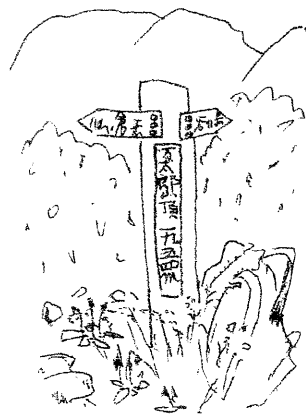


低山

Low Mount Club



'22.7 No.685

創立 60 年の歴史 **低い山を歩く会**

<http://yamajp.com>

会員総数・60 名 (2022・7・1 現在)

《目次》

7 月号の山行プラン・・・2～3

山行ルポ・・・・・・・2～6 桜を求めて 東北白石川一目千本桜／子持山から高ワラビ尾根へ／薬師岳から
地藏岳～古峯神社へ／野川散歩／小仏城山／鷹取山・小淵山・岩戸山／創立 60
周年記念行事(春季集中山行)ハケ岳バスハイク／白駒池／裏見の滝と寂光の滝

低山だより・・・・・・・6

INFORMATION

7 月の編集委員会 7 月 12 日(火)15 時
7 月の集会・役員会 7 月 26 日(火)15 時

会場:IKE・Biz
(としま産業振興プラザ)
電話:03-3980-3131

◎5 月の集会・役員会出席者・・・19 名 ◎5 月の編集委員会・・・4 名

◇山行届・事務報告などあらゆる山行の連絡は リーダーキャップ 熊澤美恵子

電話 090-5318-0292 メール: qqqu9ss9K@basil.ocn.ne.jp

◇集会などに関する問い合わせは 企画キャップ 山本悦子

電話&FAX 03-3903-7535

◇会費の納入などに関する問い合わせは 会計キャップ 眞鍋雅光

電話&FAX 03-3302-2987 (携帯 090-9300-4736)

会費振込先 郵便振替口座記号番号 00150-8-291146 口座名称 眞鍋雅光(マナベ マサミツ)

◇入会・退会・住所変更・会報の発送その他の連絡は 総務 井上恵子

電話&FAX 047-384-0347

◇ホームページに関する問い合わせは ホームページキャップ 三ツ谷征志 (電話は下記)

◇編集に関する問い合わせは 編集キャップ 三田村久子 03-3630-0988 携帯 090-9239-2105

緊急連絡先

◆阿武信夫(会長)	電話&FAX 048-822-7228 携帯:090-5429-1685
◆熊澤美恵子(リーダーキャップ)	電話&FAX 042-492-6971 携帯:090-5318-0292
◆三ツ谷征志(遭対キャップ)	電話&FAX 042-324-5854 携帯:090-6021-1457
◆村川征津子(保険担当)	電話&FAX 03-3828-5207

7月の山行プラン

★10066 回

御岳山ロックガーデン

A 中級

期日 7月9日(土)

集合・出発 JR 青梅線御岳駅 9時12分発ケーブル
下行西東京バス発着場 ケーブル下 9時
22分着

参考 ★JR 新宿駅 6時46分発ホリデー
快速おくたま1号奥多摩行 御岳駅 8時9
分着

★JR 立川駅 7時48分発青梅行 同 8時
18分着 同 8時27分発、御岳駅 8時44
分着

地図 昭文社／奥多摩、1/2.5万図／武蔵御岳

持物 一般登山用具

コース 御岳駅(バス)＝ケーブル下－御岳山－長
尾平－七代の滝－ロックガーデン－天狗岩
－綾広ノ滝－長尾平－御岳山－ケーブル下
(バス)＝御岳駅

歩程 4時間40分

ポイント 涼しげな沢沿いを歩きます。

申込み 7月7日(木)20時まで

リーダー 阿武信夫 048(822)7228

090(5429)1685

anno.nobu@ybb.ne.jp

SL 網代節子 03(3636)4793

三条の滝－兎田上分岐－上田代－尾瀬御
池＝会津高原尾瀬口駅(希望者で入浴)

歩程 6時間／6時間

ポイント 尾瀬シリーズとして最終かなと思い、いつ
も静かな秋に実施してたが、今回は初夏を
感じながら花を探し滝を見たりして楽しみ
ながら歩きたい。

申込み 7月10日(日)まで

リーダー 熊澤恵美子 090(5318)0292

SL 大沢幸子 03(8576)4346

備考 バス・小屋予約のため、早めに参加人数を
知りたい。2日目が雨でなければ実施、木
道歩き長いので怪我の無いように注意。
コロナのため入浴できないこともあり。

★10068 回

景信山

A 中級

期日 7月24日(日)

雨天中止

集合・出発 JR 中央線高尾駅北口 小仏峠行バス 8時
52分発

地図 昭文社／高尾・陣馬

持物 一般登山用具

コース 大下バス停－梅林東尾根取り付き－景信山
－小下沢キャンプ場跡－日影バス停

歩程 4時間

ポイント あまり歩かれていない静寂なコースを涼を
求めてのんびり歩く。

申込み 7月22日(金)まで

リーダー 藤田勝平 090(1458)7850

備考 山頂でおしるこパーティーをします。

★10067 回

尾瀬 アヤメ平から裏燧林道へ

A 中級

期日 7月15日(金)～16日(土)

集合・出発 新宿バスタ 6時35分発「尾瀬号」
(Lが予約購入 4,400円) 戸倉 10時
30分着 同 11時10分発 鳩待峠 11時
45分着

地図 昭文社／尾瀬

持物 一般登山用具、入浴セット、昼食(行動食)

コース (15日)鳩待峠－アヤメ平－富士見峠－見
晴十字路(泊) 昼食時間は取らないで行
動する。

原の小屋 タ・朝 2食付 1万円位

(090-8921-8314)

(16日)朝食後 6時出発－平滑の滝－

★10069 回

八方尾根

A 中級

期日 7月28日(木)～29日(金)

集合・出発 新宿バスタ高速バス乗場案内所付近 7時
20分。7時35分発 栂池高原行乗車

地図 昭文社／白馬岳

持物 一般登山用具

コース 新宿バスタ＝白馬八方バスターミナル(周
辺泊)－ゴンドラリフト八方駅＝八方アルペ
ンライン(3回乗継)＝第1ケルン・八方池
山荘－第2ケルン－第3ケルン・八方池－
扇雪溪(往復)＝ゴンドラリフト八方駅

歩程 1日目移動／約4時間

*状況により歩程を延ばします。

ポイント 北アルプス縦走登山はハードルが高くなっ

たので、乗り物利用で標高差 1,000mを
かせぎ、白馬三山をはじめ高山ならではの
雄大な景色やさまざまな高山植物を楽し
みにハイキングする。

申込み 7月13日(水)まで

リーダー 服部千重子 03(5934)6131
080(1076)1510

SL 三橋ヨシエ 03(324)5854
090(9016)1410

備考 バスのキップはまとめて予約しますので、
早めの申し込みが有難いです。電車利用
で現地集合も OK。 天候により、期日変
更する場合があります。

山行ルポ

★10050 回

桜を求めて 東北白石川一目千本桜 A 級
期日 4月13日(水)

桜を求めてJR船岡駅で降り、絶景散策マップを手
に入れる。

東北屈指の桜の名所白石川の堤防沿いを歩き、日
本一太いソメイヨシノへと歩いた。

樹木の太さ、見事な桜の花、圧巻です。川を挟んで
兩岸どこまでも続くトンネルを写真に撮りながら進み、
柴田大橋から船岡城址公園を望む。また写真を撮りな
がらゆっくり堤防沿いに船岡駅まで戻り、昼食を求め
船岡城址公園へ向かう。山頂の桜の木の下で昼食に
した。城跡にモミノ木がそびえている。柴田の町を一
望できるこの公園から約8キロにわたって堤防に植え
られている「一目千本桜」も一望でき、サクラで埋め尽
くされた素晴らしい眺望を楽しんだ。

山から下り大河原町金ヶ瀬にかけての清流、白石川
の堤防沿いの巨木が並ぶ桜のトンネルを歩き、晴れて
いれば残雪の蔵王連峰をバックにして写真撮影が。ち
よっと残念、曇り空だった。

大河原駅まで歩き桜を満喫した楽しい一日でした。

(山田明子)

(参加者) L熊澤美恵子・服部千重子・中里 薫・山田明
子・藤沼淑江(計5名)

(コースタイム) 散策の為省略

★10052 回

子持山から高ワラビ尾根へ A 中級
期日 4月24日(日)

昨年、大持山～小持山～高ワラビ尾根に行く予定
を、小持山からシラジクボへと変更した。

今年また、同じ時期に高ワラビ尾根の山行に参加した。
横瀬駅からタクシーで一ノ鳥居へと行く。多くの車が
駐車しており、晴天の昨日はもっと多かったとの事。

武甲山への登山道から道標に従いシラジクボへの道
をとる。武甲山への登山者は多いが、この方面へは人
が少ないので静かな登りとなる。シラジクボからはま
た人が多くなった。途中カタクリの花もあり楽しませて
くれる。アップダウンを繰り返し小持山頂上が見える
場所にくと、アカヤシオの花が次々と見えて、頂上の
周りは花で囲まれていた。丁度今咲き始めのピンク色
で見事である。

十分花を楽しんだので少し戻り、武士平方面への分
岐に行く。あまり人が通らないのではと心配したが、
テープが要所に付いていた。道標の嶺山の頭の先にト
ラロープが二重に張ってあって先に進んで良いものか
迷うが、Lの行けそうとの言葉で進む事にする。伊勢岩
の頭は木に小さく書かれていた。それからの高ワラビ
ルートは、かなりのアップダウンの繰り返しと岩場もあ
ってハードな行程だ。時折雨がポツリとくるが何とか
もってくれて、また、樹林帯のおかげで歩くのに支障
ない。急な登りの先に三角点が見えホッとする。城
山の標識があり、これが最後の通過点だ。かなり急な
下降路を下り舗装路に出た時は小雨になっていた。

ハードなロングコースだったが、充実した山だった。

(大澤幸子)

(参加者) L熊澤美恵子・大澤幸子・酒匂和代
(計3名)

(コースタイム) 一ノ鳥居 08:50-シラジクボ 10:00
-小持山 11:00-武士平分岐 12:15-伐採地 13:
15-785 / P14:05-城山 14:35-舗装路 15:
30-浦山口駅 16:00

★10053 回

日光開山の道 薬師岳から地藏岳～古峰神社へ
期日 5月7日(土)～8日(日) A 上級

1日目:大宮発 7時52分発宇都宮行きの電車で飛
び込む、メンバーの笑顔に出迎えられ私の第1関門登
頂大成功。JR宇都宮駅前のバス停は、ゴールデンウィ

ーク末のせいか人混みもなく、貸切り状態のバスに乗車。滝上で下車してありがたいことにすぐ登山口。

今日は足慣らし。早速早めの昼食を摂って、いざ高山線道へ。左手には桜の花や木々の合間に中禅寺湖。右手には戦場ヶ原、歩を進めるにつれて中禅寺湖の緑色は変化し、戦場ヶ原は雄姿を広げていく。絶好の場に出会いキャーキャー大騒ぎする私に、日光山の雪化粧がまぶしい。その後は打って変わって岩あり、林あり。小田代の木道に再び感動して踏みしめて歩く。リーダーの见えない手綱に引っ張られ、滝上のバス停に戻るやいなや17時1分発のバスが到着。「おかじん」荘では気持ちの良いお風呂と夕食が待っていた。就寝直前まで反省会に花談義、本番は明日から。(佐藤敦子)

2日目:宿から歩いて10分程で、中禅寺湖南岸の茶ノ木平の登山口を車道沿いに発見。雑木林の笹原の中をよく踏まれた道を緩やかに登り、残雪の白根山、皇海山を望み時折足を止める。茶ノ木平は広く、眼前に雄大な男体山を望み撮影タイムを取り、斜面に咲くアカヤシオ、ミツバツツジを見つけてはカメラを向け、歩みも滞りがちになる。細尾峠は車道が横切り、ここに駐車して夕日岳を往復する登山者が多い。薬師岳までアカヤシオを見ながら小さな登り下りを繰り返す。頂上からも男体山、日光連山を望み、ゆっくり味わう事が出来た。尾根を下ると笹原に修験道の名残りの石祠と不動明王がある。三ツ目まではダケカンバなどの雑木林の中をピークをいくつか越えながら穏やかに登る。夕日岳までは空身で往復、山頂ではアカヤシオと男体山、日光連山を眺め、多くの登山者が休憩していた。私達は先が長いので早々に三ツ目に戻り、地藏岳を目指す。新緑の中淡々と歩き進み、地藏岳の道標と石祠地藏尊に気付かず通過してしまい、SLの声掛けで気付き合掌。ここからは雑木林の中を急降下して尾根を下り、トラバースしてジグザクに下ると鞍部、ハガタテに着く。道標に沿ってバイケイソウの生える沢筋を幾度か渡り下って行く。後半は杉林そして砂利の長い林道を単調に歩く。足元にスミレの花を見るくらいで草花の季節はもう過ぎたのかな。ようやく舗装道路に出て古峰神社まで下って行き、バスの発車時間までそれぞれ土産を買ったりして過ごした。(酒匂和代)

(参加者) L 熊澤恵美子・SL 三橋ヨシエ・藤沼淑江・佐藤敦子・酒匂和代(計5名)

(コースタイム)1日目:滝上バス停12:20=高山14:00=幕張峠15:45=小田代歩道16:10=滝上バス停17:00=宿

2日目:宿4:30=茶ノ木平の登山口4:50=茶ノ木平5:51=茶ノ木平・明智平分岐6:31=細尾峠8:05=薬師岳8:58=薬師の肩=9:17=三ツ目10:54=夕日岳11:19=三ツ目11:46=地藏岳12:10=ハガタテ12:46=古峰神社14:59

★10054回

野川散歩

A級

期日 5月12日(木)

西国分寺駅から南へ遺跡通りを通り、伝鎌倉街道の切通しを抜け、尼寺跡(黒鐘公園)の基石を鑑賞する。四中文化財資料展示室で蓮華かわらを見学し、しばし休む。道すがら柴のシランが心をなぐさめる。

さて今回の案内は地元横塚さんで散歩道でもあるが、下見と資料を準備していただき参加者から感謝感激でした。国分寺跡の広大な緑地を歩き、国分寺(万葉植物園)を見学、藤棚と思ったがジャケツイバラの黄色花が藤の形の逆に上に咲いているのが珍しく皆感心しました。ここから野川お鷹の道を歩き、水辺に咲く白く大きな水芭蕉に似たカラーが咲き誇っていました。

真姿の池の湧水池を見て地元野菜が数種類あり路を買いました。ゆっくり歩いたので殿ヶ谷戸公園の紅葉亭で昼食を食べました。昔の武蔵野の面影が残る緑濃き所で味わう食事は格別でした。園内を散策、フジは一房でしたが緑の鈴蘭に似た宝鐸草が秀逸でした。

野川を歩き貫井神社に寄り、新品のトイレを借り池を見るとカルガモの親子が小島にいました。水に入るまで見届け、ようやく泳げる位小さな小島に感激でとても良かった。野川の畔を歩き水辺に咲く花菖蒲をめでながら歩き、蹠蹠泉園を見て武蔵小金井駅へ。

丁度、雨もポツリと来て、ビールを飲むのに適した時になりました。(三ツ谷征志)

参加者 L 三ツ谷征志・SL 横塚征一郎・三田村久子・藤田弘治・横尾敦子・黒田正・奥山富士子・井上恵子・植村早苗(計9名)

コースタイム 西国分寺駅 9:00=黒鐘公園=国分寺跡=源水池=野川=殿ヶ谷戸公園=野川=貫井神社=野川=蹠蹠泉園=武蔵小金井駅 14:00

★10055回

小仏城山

A中級

期日 5月15日(日)

「みんな、棒なんか持ちちゃって、手はポケットに入れて歩けばいいんだよ」としに言われてストックを突いて歩きだす。今日はどうどんパーティーが楽しみ。日影沢キャンプ場から取り付き久しぶりに渡渉する。小沢だがタベの雨で水量が程よく新緑も眩しい。ジグザグに登る「鉄塔尾根」とは登山路の両側に鉄塔が建っているのでもしが付けた名だという。ここから先小さい木片の標識や看板の裏に案内や言葉が書いてあるのはしを書いたという、機会があったら見つけてください。10年物のキンラン(花の数が年数を表すという)、エビネの大株(本当の名は浴衣だという本当かな?)山シャクヤクなど見落としてそうな場所を教えられる。

林道に合流すると開け城山は混雑。関東平野を俯瞰するがさすがに下る道はキンランロードで撮影は順番待ち。一丁平入り口にテーブルを確保して宴が始まる。バーナーセットにコッフェルが乗り、湯、野菜、肉、途中採取のミツバなど8種以上がグツグツいう。昔話も持ち寄りの一品に花を添える。食事作りは何年振りかでいい時間が過ぎた。

一丁平から丹沢方面が黒いシルエットに見えた。モミジの中下ると足元はエビネロードになってナンバーカードが添えられ、しっかり保護されている。高尾山山頂を避け4号路から静かないろはの森に入る。イカリソウ、ツルリンドウなども見つけ植物の豊かさを感じた。小沢を渡り日影沢のキャンプ場に戻ったので巾着袋の形に歩いてきたようだ。高尾駅京王線の下でコロナの前と同じようににぎやかな店で打ち上げをした。

(三橋 ヨシエ)

(参加者)し 藤田勝平・阿武信夫・井上恵子・加藤和江・中里薫・三橋ヨシエ・(計6名)

(コースタイム)高尾駅(バス)9:12—日影沢バス停9:50—一丁平11:40~12:50(宴)—いろはの道14:10—日影沢バス停14:50—高尾駅

★10056 回

鷹取山・小淵山・岩戸山 A 中級
期日 5月22日(日) 21日(土)を変更

今月は天候が安定せず、1日遅れの実施となった。この日も予報ではあまり良くなく、心配しながら身支度を整えてからの出発だったが、思いのほか天候に恵まれ、リーダーの苦勞に感謝!感謝!

鷹取山、小淵山、岩戸山と、標高こそ低い、登り下りが多く急で、最近登山から遠のいている私などには、

とっても良い訓練になった。また、花こそほとんどなかったが、自然林に恵まれた山の緑は、すばらしかった。

(中里 薫)

(参加者)し服部千重子・井上恵子・今西光輝・奥山富士子・黒田 正・桑崎せつ子・中里 薫・藤田弘治・三橋ヨシエ(計9名)

(コースタイム)上野原駅=鷹取山登山口 10:12—3基の石祠10:25—鷹取山10:52~11:10—小淵山12:08~12:40—小淵峠12:55—岩戸山13:28~39—藤野神社下14:12—藤野駅14:28

創立60周年記念山行(春季集中山行)

ハヶ岳バスハイクの報告

期日 6月5日(日)

麦草峠周辺山行のバスハイク5コースが行われました。

1コース 麦草峠から茶臼山・縞枯山

し 阿武信夫 4名

2コース 白駒池

し 森田準之助 9名内ゲスト2名

3コース 麦草峠周辺逍遥

し 今西光輝 7名

4コース 麦草峠から丸山・高見石

し 三ツ谷征志 5名

5コース 麦草峠から雨池・八柱山

し 熊澤美恵子 9名

(合計34名)

天気は、雨も予想されていましたが、薄曇り、時に薄日が洩れる程度の、山行には適した状況でした。若緑の中、鳥のさえずりを聞きながら歩く、60周年記念山行にふさわしい良き時候でした。バスはコロナ禍がまだ続いている状況中の行事であるので、乗車前の検温、一つ置き座席の乗車を行った。行きは順調に運行し予定より少し早く10:30に麦草ヒュッテ前に到着、帰りは渋滞に巻き込まれたが予定より1時間遅れの8時 IKE/Biz に到着した。長距離の山行コースは予定コースを回り切れなかったが、ほぼ各コース集合場所に定時に集まることができ、バス前での記念撮影後3時帰途についた。

しかし、残念ながら今回2件の予期せぬ出来事が起きた。ひとつは、出発時間になっても参加者の M さんが来られない。今、自分のいるところが分からなくなったとのこと。連絡をとり出発することとした。もう一つは、帰りの出発時間になっても Y さんが見えない。

心当たりを探すもいっしょらない。時間が来たので奥様に連絡して出発することとした。幾分か時間が経過した後に奥様に連絡したところ、佐久警察署に保護されて無事なことが分かった。私の帰宅後本人から連絡があり、待ち合わせ場所から自分の判断でより良いと思われる場所に移動して待っていたが、時間が迫ってきたので国道に出て集合場所に向かうとして道に迷い、歩いているところを不審に思った若人が警察に連絡してくれたとのことでした。更に、その若人は集合場所方向に向かう車を止めて乗せてくれたそうです。警察にお礼の電話を入れたところ、高齢者が不明になった時には必ず警察に連絡してくださいとのことでした。今後、会の会員も更に高齢化していくことですので、これ等のことを反省点として注意深く対応していきたいと思います。各々もこの点十分ご配慮をお願いします。(会長 阿武信夫)

★10059回

創立60周年記念山行(その2)

白駒池

A級

私は去年満90歳になり、今期を持ってリーダーを辞めることにした。とっくの昔にその実力は無くなっていたのだが、他の方の山行には付いていけないので自分がリーダーをやるしかないと思い続けてきたが、それも今日が最後だ。私が誘った2名のゲストを含め8名の同行となった。

麦草峠のトイレ前でバスを降り、先ず野草園に入る。咲いていたのはシラネアオイのみ、白い花も見られた。白駒池まで山道が分からず車道を歩き池入口に到着、ここから樹林帯に入る。標高2,000mを超え、シラビソ、コメツガなどの森に入るのは何年ぶりのことだろう。そして多分これが最後だろうと思いながら歩く。僅かな登り坂も息が切れて休まないと登れない。

こうして白駒池青苔荘の前に到着した。ここで昼食とする。食後池を一巡り、皆には左回りに歩いて貰い、私一人白駒山荘で会うことを約束して右回りに歩く。40分後合流、他のパーティーとも一緒になり、14時にはバスの待っている池入口に到着した。

(森田準之助)

(参加者) L 森田準之助・武井光子・横尾敦子・植村早苗・山崎玉枝・松沢治子・ゲスト2名(計8名)

(コースタイム) 麦草峠野草園 11:00ー白駒池入口 11:30ー白駒池(青苔荘前) 12:10ー40ー白駒山荘前 13:30ー白駒池入口 14:00

★10063回

裏見の滝と寂光の滝

A中級

期日 6月11日(土)

午後から雨予報なので早めの行動と思いタクシーで裏見の滝へ、思っていた以上に見ごたえがあり、裏見の滝を中心に何か所も滝が流れ落ちていた。ゆっくり写真に収め女峯へ向かう。軽い林道歩きと思ったら完全な山道、しかもルート探しでロスタイムし、昼に大樺分岐に着く見込みがなくなり、途中からタイムアウト撤退することにする。雨もポツリときて戻って四阿屋で昼食を取り、バス停に向かった。幸い雨は時々降る程度で済んだが、タクシー代が意味のないものになった。だらだら山行だった。(熊澤美恵子)

(参加者) L 熊澤美恵子・中里 薫・山田明子・山本悦子(計4名)

(コースタイム) 裏見の滝駐車場 09:50(見学)~10:35ー撤退 11:30ー駐車場 12:05~12:45(昼食)
ー裏見の滝入口バス停 13:20

低山だより

◎7月の山行プランについて

本7月号掲載の山行プラン4本(グレードの内訳、A中級4本)が5月25日の役員会で了承された。

◎令和4年(2022年)8月の集会・役員会は24日(水)、編集委員会は8日(月)です。

◎5月25日の集会出席者(順不同)

阿武信夫、熊澤恵美子、服部千重子、井上恵子、奥山富士子、眞鍋雅光、森永孝子、今西光輝、村川征津子、植村早苗、三田村久子、藤田勝平、金沢正秋、横塚征一郎、三橋ヨシエ、武井光子、三ツ谷征志、山崎玉枝、網代節子 以上19名

低山 通巻685号 2022年7月号 発行/2022年7月1日発行) 発行人/阿武信夫(低い山を歩く会会長) 発行所/低い山を歩く会 〒330-0064

さいたま市浦和区岸町 7-3-3 ☎048-822-7228 頒価/300円(送料120円) 編集委員/三田村久子・浜橋保代・金沢正秋・山崎玉枝・伊東栄子・横塚征一郎

版下作成/横塚征一郎 〒185-0021 東京都国分寺市南町 1-7-11 TEL&FAX 042-323-6080